

トピック 主なものを抜粋

公明新聞全国版に掲載

2023.2.2

厚生労働省が保育園で使用済のおむつを処分するよう方針を初めて全国の自治体に示す前に、朝霞市では来年度予算に計上されたことは、とても大きな事と思います。今回は公設保育園が対象のため、民間保育園では実施済のところはありますが、補助などできないかと訴えました。

使用したおむつ
来年度から保育園で回収
母親「本当に助かる」



櫻尾さん家族と喜ひ合う
遠藤市議（左端）

「使用済み紙おむつの持ち帰りがなくなるのは本当に助かる」。埼玉県朝霞市在住で2人の子どもを育てながら保育士として働く櫻尾彩さんは笑顔で話す。

同市は現在、来年度から市立保育園で園児の使用済みおむつを回収・処分する方向で検討している。これまでは保育士がおむつを園児ごとに分けて保管し、保護者が持ち帰っていた。しかし、保護者は臭いが気になって帰宅途中に買い

物などへ行きづらいほか、保育士はおむつを仕分ける業務の負担が重かった。母親と保育士の両方の立場から課題を感じていた櫻尾さんは昨年3月、自身の経験や他の自治体の状況などをまとめた要望書を作成し、公明党の遠藤光博市議に提出。遠藤市議は、同年の6月と12月定例会で繰り返し改善を求め、「来年度から実施する」との答弁を12月定例会で引き出した。

公明市議 一人の声から実現

おむつの持ち帰りが撤廃される方向で進んでいることを聞いた櫻尾さんと夫の秀夫さんは「一人の声からすぐに動いてくれてありがたい」と語っていた。



©NEW KOMEITO

地域の小さな声が形に!

① 城山通り(旧 254 幸町団地～税務署前) 自転車通行帯道路標示が設置されました 長年要望してきたことがやっと実現!



② 溝沼 7-2 付近 行き止り路地の注意喚起看板を新しいものに交換 (年末いただいた要望のため、応急処置し年明けに交換)



775 フレンズカフェ

生放送 防災スペシャル

2023年3月11日(土)

ゲスト **遠藤光博さん** 12時～14時59分



13時～13時59分のご出演

<プロフィール>
朝霞市地域防災アドバイザー (防災士)
朝霞市議会議員
<こんなお話を伺います>
朝霞市地域防災 アドバイザーの役割
避難所には限りがある
・ 地震と洪水とは、使える避難所が違う
・ 在宅避難のすすめ
ペットを飼っていない人も知って欲しい「ペット防災」
朝霞市の防災体制について
朝霞市総合防災訓練 今年開催予定



防災士として活動!

3月11日は私にとっても意義深い日に、防災対策についてラジオ生放送にゲスト出演。担当者より、企画段階で防災の話を誰に?と思案する中、「遠藤さん」と思いついたと言っただきました。日頃の備えなど分かりやすく身近に感じていただけるようお話ししました。

これまでも少人数の防災講座や災害時に役立つパッククッキング体験など、ご依頼いただき随時開催しております。

←当日のチラシを掲載

